

「大型哺乳類の分布拡大要因の推定」

奥村忠誠（東京大学大学院農学生命科学研究科）

日時：6月20日（土）

会場：環境情報学習センター（エコギャラリー新宿）

要旨：

近年、全国規模で野生動物の分布拡大が確認され、それに伴い農林業被害地域も拡大し、大きな社会問題となっている。この問題に対して、現場レベルでは特定鳥獣保護管理計画にもとづく個体数調整、電気柵やネットを使った被害防除などが行われている。一方で、現在の分布拡大に関係する要因を把握し、その要因への対策を行うことで被害拡大のリスクを減らすことが可能になると思われることから、広域を対象に長期的視点にたった土地利用や国土計画などのソフト面からの総合的な管理手法が求められている。そこで、本発表では、野生動物による被害の現状とその対策について事例を交えて紹介すると共に、既存データを活用した分布拡大の要因把握を試みた結果を紹介する。